

東海東京財団ニュース

2022年12月8日

各位

一般財団法人 東海東京財団
愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1

一般財団法人 東海東京財団 2022年度「祭礼行事伝承助成」助成対象先を決定

一般財団法人 東海東京財団（2016年8月設立、理事長 石田建昭）は、地域の将来を担う人材やグローバルに活躍できる人材の育成、また、地域社会において、国際経済や社会への理解を促す機会の創出、文化・芸術振興などを通じて、地域社会の将来の発展に寄与することを目的といたしております。

愛知県内各地の祭礼行事が、末永く保存・伝承され、発展していくことを願い、2022年7～9月にかけて「祭礼行事伝承助成」の公募を行ないました。合計6件のご応募があり、厳正なる選考の結果、6件の助成対象先（別紙参照）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本助成事業は6年目であり、累計47件、17,945千円の実績となります。

2022年度「祭礼行事伝承助成」について

1. 実施背景

2016年11月、全国で33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そのうち、愛知県には全国最多の5件が所在しております。登録により文化的価値が改めて広く認識されるとともに、地元の活性化、伝統文化全体への波及効果なども期待されます。

こうした「山・鉦・屋台行事」に限らず、地域社会に伝わる各種の祭礼行事が県内各地に存在しておりますが、一方で、こうした行事を保存・伝承していくうえでの若い後継者の不足が懸念されているほか、その保存・伝承を継続していくうえでの経済的な支援が求められている状況です。

2. 公募方法および申込期間

公募方法：各自治体の教育委員会等を推薦窓口とし、愛知県県民文化局に書類提出。

申込期間：2022年7月25日（月）～9月9日（金）

3. 助成対象

愛知県内に存在する伝統的な祭礼行事および民俗芸能等の保存・伝承、後継者の育成のための活動に努めており、下記の項目に該当する団体に対して支援いたします。助成対象となる経費は「用具購入・修繕費、製作材料費等」のみとします。

- (1) 2023年6月までに、申請した費用の支出を予定していること。
- (2) 団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
- (3) 市町村教育委員会または市町村文化財保護行政担当部局の推薦がある団体であること。但し、推薦枠は各市町村につき2件までとします。
- (4) 次に該当するものは、すべて対象外とします。
 - ① 過去に本財団から助成を受けている団体
 - ② 2件を超えて推薦をした市町村に属する団体
 - ③ 2021年度、「用具購入・修繕費、製作材料費等」について外部から助成を受けている団体、および2022年度に同費用について外部から助成を受けることが決定している団体

4. 助成対象者の決定

本財団の事務局において応募書類等の審査の後、理事会（2022年10月12日）における承認のうえ決定した。

5. 助成決定件数および助成額

- ・2022年度「祭礼行事伝承助成」 助成申込件数、決定件数および助成金額

| 申込件数 | 決定件数 | 助成金額 |
|------|------|---------|
| 6件 | 6件 | 1,569千円 |

※助成決定先、助成金額内訳は別紙をご参照ください。

以 上

(別紙) 2022年度「祭礼行事伝承助成」助成先一覧

6件 1,569千円

(敬称略)

| 番号 | 市町 | 団体名(カナ) | 助成内容 | 助成金額 (千円) |
|----|-----|---|---|--------------|
| | | 行事名 | 概要 | |
| 1 | 半田市 | ホンイタヤマ マツリバヤシ ホソソカイ 本板山祭囃子保存会 行事名:本板山組祭礼 | ・小鼓の改修(皮部破損のため張り替え) 祭礼にて山車4輛を曳き回し、囃子や三番叟、獅子舞を奉納。 半田市内には10地区31輛の山車があり、すべての山車が愛知県若しくは半田市の有形民俗文化財となっている。来年度は今年できなかった山車の運行に伴って行う囃子の演奏を行う予定のため、小鼓の修理が必要。 | 81 |
| 2 | 美浜町 | オクダ キタナカ サイレイブ 奥田北中祭礼部 行事名:奥田地区祭礼 | ・山車に装飾する提灯(ちょうちん)150個の購入 奥田地区の五穀豊穡や氏子区民の家内安全等を祈願。 平成16年に新造された山車は住人や関係者から寄付を受けながら修繕を行いつつ維持されているが、山車の装飾に使用する提灯の経年劣化が近年ひどくなり、交換が必要。 | 500 |
| 3 | 岩倉市 | イワクラシ ナカホンマテク ダシホソソカイ 岩倉市中本町区山車保存会 行事名:岩倉市神明太一社祇園宵祭り | ・山車に装飾する提灯50個、及びお囃子用太鼓バチ20組の購入 中本町区の五穀豊穡と無病息災を祈念する。 愛知県で最も古くから伝わっている山車の一つで、山車の構造も犬山方と名古屋方の特徴を併せ持った独特の形状は貴重なもの。提灯とバチが経年劣化により不足しており、次回の山車巡行に支障をきたすため。 | 252 |
| 4 | 一宮市 | オコシ ロクサイバヤシホソソカイ 起穴斎ばやし保存会 行事名:水天宮川祭り奉納演奏 | ・山車本体の修理費(さび落とし、塗装、工具・補修用工具等) ・三味線の修理 ・横笛、バチ購入 水天宮の祭礼日に山車を中心とした行列が町を練り歩く。 過去2年間、コロナ禍で練習や奉納演奏ができず、山車や三味線等の劣化が進んだ。祭礼日の練り歩き以外にも公演を行っており、今後の公演を見据え、令和4年に山車や楽器の修理の実施と楽器等を購入。 | 129 |
| 5 | 田原市 | タハラマツリシマチダシホソソカイ 田原まつり新町山車保存会 行事名:田原祭り | ・高張提灯一式、固定台、雨天用雨除け各2基、貸出し用法被10着 5町合同で毎年開催する秋の大祭で、江戸時代から続く伝統的な行事。 現在、人口減少により新町住民だけの祭礼運営は困難で、既に地域外からの参加を仰いでいる。当日参加希望者の受入れ体制を確立し、賑やかな祭りにするとともに、伝統を次の世代に引き継げるようにしたい。 | 125 |
| 6 | 常滑市 | トキワシャヤマモルカイ 常磐車を守る会 行事名:常滑市旧常地区 春の大祭 | ・能管笛の新調、大太鼓膜の張り替え 常滑市旧常地区を6台の山車が巡行し、お神楽を奉納する。 春の大祭に向けてお囃子の稽古を行っているが、人数に対して能管笛が足りておらず、コロナ禍のため共用使用を禁止している。大太鼓膜は、昭和時代に購入し、使用回数が多く劣化が著しい。何れも寄付で賄うことが困難なため。 | 482 |

以上